

# 金山町財政中期計画

令和8年2月策定

総合政策課

## 1. はじめに

この中期計画は令和7年度の決算見込みから令和11年度までの5年間の見通しをもとに作成しています。

将来の財政見通しに課題が生じていたことから、令和2年度に財政健全化に向けた動きを加速し、中央公民館の機能移転や遊休施設の解体、公共施設の再編など財政状況に大きく影響する事業の本質的な見直しを進めてきました。

その結果、財政状況については、引き続き地方交付税に歳入の多くの割合を依存しているものの、危機的な状況は一旦脱したものと判断し、その上で、令和5年度を攻勢への転換年度、令和6年度には町制施行100周年事業や、デジタル化への取組、令和7年度は非常用電源装置設置事業などの防災事業を実施しました。

令和8年度は、東北中央自動車道の延伸を、関係・交流人口拡大の好機と捉え、「ホットハウスカム口改築事業」や「シティプロモーション推進事業」について、しっかりとした財政基盤を意識しながら、次の時代を見据えた将来への投資を行い、限られた自主財源の中において「選択と集中」による「最小の投資で最大の効果」を目指していきます。

### 【金山町の人口構成等の推移】

区分	2025	2030	2035	2040	2045	2050
総人口	4,565	4,027	3,569	3,132	2,715	2,317
0～14歳	405	349	279	236	196	162
15～64歳	2,269	1,841	1,603	1,354	1,113	906
65歳以上	1,891	1,837	1,687	1,542	1,406	1,249
(うち75歳以上)	999	1,071	1,117	1,088	952	826
生産人口率 (15～64歳)	49.7%	45.7%	44.9%	43.2%	41.0%	39.1%
高齢化率	41.4%	45.6%	47.3%	49.2%	51.8%	53.9%

・2025年は12月末現在の住民基本台帳人口、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所（社人研 2023年12月22日公表資料）の推計値を使用。

## 2. 試算の前提条件、考え方など

### ①試算期間、条件

一般会計を中心とし、令和7年度から令和11年度までの5年間が計画期間です。

令和7年度の決算見込みや令和8年度の当初予算案をベースに、現行の制度が継続すると仮定し、現時点で予定されている事業計画を踏まえ積算をしました。

また、事業全体について、社会情勢や健全化策により事業実施年度を変更していきます。

## ②年度別の見通しと項目別の考え方

一般会計の年度別積算内容は4ページに掲載しています。

各項目の考え方は以下のとおりです。

### 【歳入】

町税	R8見込みをベースに試算し、令和9年度の評価替えを考慮。
譲与税、交付金	国の地方財政対策 R8見込みをベースに積算。
地方交付税	普通交付税は、地域の元気創造事業費や地域社会再生事業費、地域デジタル社会推進費などが継続されるとともに、物価高対応による経費算定の加算が予定されている。 一方、R8より算定に用いる人口が、R7国勢調査結果となる見込みであり、人口減少の影響もあるが、激変緩和措置もあることから、R7をベースに地方財政対策の伸び率をベースに試算。 特別交付税はデジタル人材育成事業などを見込み算定。
使用料及び手数料	住宅使用料やゴミ処理手数料などR7をベースに試算。
国庫支出金	障害者支援や農業支援など約3億円を通常ベースとし、大規模な工事などの特殊要因を加算。
県支出金	障害者支援や農業支援など約2億円を通常ベースとし、大規模な工事などの特殊要因を加算。
財産収入	光ファイバー網貸付料などの通常ベース約8百万円、普通財産貸付収入で2百万円を試算。
繰入金	普通交付税の見込みをベースに不足する財源を基金繰入で補てん。主な内訳として、「資産活性基金」を施設整備の財源として、ふるさと寄附を財源とする「かねやま応援基金」を重点的な政策目標の財源として、財源不足の調整を「財政運営基金」を活用し、公債費の増加が

	見込まれる R12 以降は減債基金繰入金を予定。
寄附金	ふるさと寄附を R7 から 2 億円で試算。
地方債	過疎債 1 億 5 千万円をベースに計 2 億円で試算。大規模な投資的事業、工事などの要因を加算。

【歳 出】

人件費	R8 予算をベースに試算。
扶助費	R8 予算をベースに試算。
公債費	現在予定している事業計画を踏まえ試算。
物件費	R8 予算をベースに試算。
維持補修費	R8 予算をベースに除排雪経費や道路維持を試算。
補助費	R8 予算や最上広域事務組合の財政計画をベースに試算。
積立金	ふるさと寄附の 1/2 相当を「かねやま応援基金」に、前年度繰越金の 1/2 相当と余剰金に応じて試算。
繰出金	R8 予算や各会計のシミュレーションや事業計画をベースに試算。直診は 1 億円で推計。介護保険は 1 億 2 千万円、後期高齢は 9 千万円（療養給付負担含む）。
投資的経費	<p>投資的事業計画をベースに単独事業費 2 千万円程度を上乗せ。下記は主な特殊要因。</p> <p>R8 役場庁舎昇降機設備改修事業 5, 940 万円  R8~10 ホットハウスカム口改修事業  （既存施設解体込み） 10 億 600 万円  R8、9 地域振興施設整備 4 億 7, 980 万円  R9 総合交流促進施設（シェーネスハイム金山）  関連改修等 1 億 3, 000 万円  R10 神室スキー場圧雪車更新 5, 000 万円  R10、11 金山中大規模改修 1 億 3, 500 万円  R10、11 金山小プール 1 億 100 万円  R8~16 大規模ほ場整備負担金 2 億 9, 890 万円</p>

### 3. 一般会計年度別財政見通し

年 度		令和6年度		令和7年度(決算見込み)		令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度	
区 分		金 額	伸率	金 額	伸率	金 額	伸率	金 額	伸率	金 額	伸率	金 額	伸率
歳 入		5,637	12.3	5,640	0.1	5,580	▲ 1.1	5,650	1.3	4,716	▲ 16.5	4,891	3.7
主 な 内 訳	市町村税	433	▲ 5.3	455	5.1	421	▲ 7.5	431	2.4	432	0.2	432	0.0
	地方交付税	2,532	3.6	2,544	0.5	2,369	▲ 6.9	2,369	0.0	2,369	0.0	2,369	0.0
	国・県支出金	651	▲ 9.3	794	22.0	687	▲ 13.5	517	▲ 24.7	552	6.8	674	22.1
	基金繰入金	431	46.6	486	12.8	468	▲ 3.7	420	▲ 10.3	530	26.2	410	▲ 22.6
	地方債	565	71.7	557	▲ 1.4	909	63.2	1,395	53.5	338	▲ 75.8	512	51.5
うち経常一般財源		2,876	2.6	2,920	1.5	2,796	▲ 4.2	2,806	0.4	2,806	0.0	2,806	0.0
歳 出		5,302	12.8	5,400	1.8	5,548	2.7	5,640	1.7	4,709	▲ 16.5	4,876	3.5
主 な 内 訳	義務的経費	1,820	8.3	1,935	6.3	1,815	▲ 6.2	1,883	3.7	1,837	▲ 2.4	1,856	1.0
	うち人件費	902	10.9	971	7.6	921	▲ 5.1	947	2.8	947	0.0	947	0.0
	うち公債費	445	▲ 2.2	451	1.3	469	4.0	511	9.0	490	▲ 4.1	509	3.9
	投資的経費	604	29.1	661	9.4	1,157	75.0	1,351	16.8	524	▲ 61.2	723	37.9
	うち普通建設事業	488	5.9	621	27.3	1,118	80.0	1,331	19.1	524	▲ 60.6	723	37.9
	うち単独事業	444	23.0	527	18.7	884	67.7	1,300	47.1	418	▲ 67.8	285	▲ 31.9
	補助費等	847	4.3	925	9.2	854	▲ 7.7	855	0.1	831	▲ 2.8	801	▲ 3.6
	うち一部事務組合	309	▲ 0.3	350	13.3	324	▲ 7.4	325	0.3	321	▲ 1.2	301	▲ 6.2
	物件費	948	41.3	930	▲ 1.9	931	0.1	900	▲ 3.3	870	▲ 3.3	850	▲ 2.3
	繰出金	297	▲ 26.3	300	1.0	316	5.3	308	▲ 2.5	300	▲ 2.6	300	0.0
うち経常経費充当一般財源		2,669	5.1	2,739	2.6	2,728	▲ 0.4	2,768	1.5	2,711	▲ 2.1	2,700	▲ 0.4
収 支		335	5.3	240	▲ 28.4	32	▲ 86.7	10	▲ 68.8	2	▲ 80.0	15	650.0
基金現在高計(百万円)		2,657		2,575		2,108		1,918		1,608		1,418	
財政運営基金		1,122		1,012		752		682		502		502	
減債基金		409		467		467		467		467		467	
特定目的基金		1,126		1,096		889		769		639		449	
経常収支比率		92.8		93.8		97.6		98.6		96.6		96.2	
実質公債費比率		9.2		8.9		8.9		9.4		9.6		9.8	
将来負担比率		-		-		17.0		62.3		70.5		79.6	
実質赤字比率		赤字なし		赤字なし		赤字なし		赤字なし		赤字なし		赤字なし	
連結実質赤字比率		赤字なし		赤字なし		赤字なし		赤字なし		赤字なし		赤字なし	

### 3-1. 年度別財政見直し

各年度の見込みは4ページに記載しています。主なポイントは以下のとおりです。

#### ① 継続的な事業見直しによる、財政及び事業硬直化の防止

公共施設等総合管理計画と併せて中央公民館の機能移転、小学校の統廃合、継続した事務事業の見直しなどにより、将来の財政見通しが大きく改善し、フロントヤード改革やDXなどを含む新たな事業実施に結び付いています。

グリーンバレー神室一体については、令和8年度以降に予定されている東北中央自動車道の延伸によって、交流人口や関係人口の拡大が見込まれる町の観光分野の重要な施設群ですが、町財政への負担が大きく、引き続きの継続課題として取組んできました。

令和8年度の指定管理業務の更新にあたり、サウンディング市場調査を実施し、効率化や適正化、事業の充実化による新たな集客策などを含め、本質的な改善による更なる魅力向上を新たな指定管理者と協力しながら、町全体の観光分野の発展に取り組めます。

同様に、財政状況を踏まえ各事業の定期的な事業見直しにより、事業の硬直化を防ぎながら、事業実施していくことが重要です。

#### ② 歳入（交付税及び財源の確保）

2ページの項目別の積算方法により、歳入を見込んでいます。

先の人口推計のとおり、これまで予想していたよりも早く人口減少が進んでいくことが想定されています。現在の制度上交付税の算定には人口が大きく影響しており、交付税の減額要素の一つとなっています。

一方で、社会情勢に合わせ特例的に増額措置となっている事項もあり、令和8年度の交付税の見通しは前年度当初予算よりは増額されているものの、国の財政状況により不透明な部分も想定されます。

交付税は現行のルールにより予定されている増減を見込み、普通建設事業などの特殊事情には地方債を充当しています。また、各年度の全体的な財源補てんは基金繰入金により財源調整をしています。

財源の多くを交付税が占めている当町においては、交付税増減の影響は大きく、今後の社会情勢も注視しながら、国県支出金の積極的な活用に加え、徴収率向上を含めた税収や料金収入、ふるさと納税制度などによる収入確保も引き続き強化しながら、限られた財源を有効的に活用することが重要です。

### ③ 歳出（適正な指定管理と他会計繰出金の抑制）

3ページの項目別の積算方法により、歳出を見込んでいます。

物件費に各施設の指定管理料が含まれており、指定管理者との継続的な協議のもと、公益的機能と収支バランスの向上が求められます。

補助費については、水道事業会計及び下水道事業会計への一般会計からの支援を含め算定しております。

繰出金では、直診会計に対する一般会計からの運営費補てんについて、概ね1億円程度と試算され、町内唯一の医療機関として、引き続き運営費の抑制や診療収入の確保対策が重要になります。

一方で、介護保険特別会計については、令和6年度より第9期計画となり、これまで町の重点事業として取組んでいた介護予防や健康づくり事業などの効果により、介護認定者の数が減少し、繰出金も事業規模に合わせ減少しています。

投資的経費については現在見込まれている事業を実施する見込みでの試算となっています。一部の事業については、全体的な状況、情勢を見ながら実施時期の変更や可否を判断する予定です。

### ④ 経常収支比率

経常収支比率については、財政状況の指標の一つであり経常収支比率が低いほど、用途の自由度が高い財源が確保されている、柔軟な財政状況と捉えることができます。

これまでの事業見直しの効果に加えて、近年は当初想定よりも普通交付税の増額交付の影響を大きく受け、令和5年が90.6%、令和6年が92.8%となり今後収支比率の上昇が見込まれます。

「経常収支比率」を減少させるには、経常一般財源である「税金」の確保はもちろん、事務費などの経常的経費の削減も重要であり、引き続きDXなどによる削減に努め、恒常的にニーズが高い事業、一時的に特殊要因となる事業、そして将来を見据えた長期の事業それぞれにしっかりと対応していけるよう、他の財政状況指数も含めた確認が必要です。

### ⑤ 起債の償還見込（令和15年度よりピーク）

11～19ページに、起債の発行と償還の予定額を掲載しています。

一般会計については15ページのとおりです。年度別でみると令和8年度は、

令和7年度から実施設計を行っている、「ホットハウスカム口改築事業」の本工事も、地域振興施設整備（仮称）などの投資的事業が始まります。

特に、「ホットハウスカム口改築事業」については、令和8年度は前払い金分、令和9年度は本工事精算分、令和10年度は解体工事分の借入を予定しており、当町にとっては非常に大きな借入になりますので、他の事業との同時期の借入には注意が必要です。

現在の見込みで起債残高のピークが令和11年度末、償還額のピークは令和15年度となっており、令和13年度から17年度までは公債費が6億円を超えるため、事前に減債基金を含めた基金の確保が必要となります。

償還額が増加する主な要因は15ページ下段に記載していますが、令和8年度の償還と比べると令和15年度は2億円程度増加する見込みです。償還に要する財源の確保に影響が出ないよう留意が必要です。

## ⑥ 基金の運用

適正な基金残高は安定したサービス提供を保障し、財政健全化比率の抑制にも影響を及ぼします。

令和3年度からの普通交付税増額の影響で基金残高が回復したことにより、財政運営基金などの繰入を一定程度に抑えつつ、経常経費の削減により、積極的な基金への積立（積戻し）を行い、最低限の基金運用ができる5億円を維持していく必要があります。

しかしながら、全体の財源調整を行う財政運営基金については数年内で5億円を取り崩す見込みとなっており、基金以外に補助金や交付金事業、有利な起債確保などの財源確保が重要となります。

著しい赤字補てんの負担増加や交付税の減少が大きくなれば、長期的な運用バランスは簡単に崩れることになります。

財政運営のひとつのルールとして、基金残高が5億円を下回りそうな場合はその年度の3年度前に一定の事業を停止し、一般会計が赤字にならないように改善する時間を設けることにしております。ただしこれは非常に危機的な状況ですので、この前段階でしっかりと改善策を講じていきます。また各特別会計においても、経営健全化基準団体（一般会計の早期健全化団体）にならないように特に資金不足に注意が必要です。

## 4. 令和8年度の財政健全化策の進め方

事業見直しの継続に加えて、

- ① 収入確保の強化（税、使用料の徴収率向上、収益事業の集客等）を実施します。
- ② フロントヤード改革やOA化などによる、経常経費の削減に努めます。
- ③ 各種改革により生み出された時間等の余白を、新しい行政サービスにつなげていきます。

## ※参考：財政計画に含んでいない今後想定される大規模事業

- ・新庄最上地域の道の駅
- ・公共施設等総合管理計画に含んでいない改修や解体

## 5. 特別会計の推計について（今後の特殊要因等）

### ① 国民健康保険会計直診勘定

国民健康保険会計直診勘定（町立診療所）については、これまでも経営改善に努めて、令和5年度より県の特別調整金の対象となり、診療収入などの確保も併せて、一般会計による負担は1億円程度となっております。

引き続き、安定的な運営を行い、地域医療の中心として関係機関との連携を密にし、今後も、経営改善に努めながら町民の皆様から信頼される医療機関としての役割を果たしてまいります。

### ② 介護保険特別会計

介護保険料の改定は、3年毎の計画策定時に介護サービス給付費の見込に基づいて算定しており、給付費の上昇が続いていた第7期、第8期介護保険事業計画時の介護保険料は、国・県と比較して高い水準にありましたが、第9期（令和6年度～8年度）の保険料については、健康づくり事業の効果等もあり、国・県の平均を下回る基準額となっております。

第10期～11期（令和9年度～14年度）は、人口推計や要介護認定率等の推計から、給付費は第9期と同水準またはやや低い水準で推移すると見込んでおり、それに伴い、一般会計による負担も、令和8年度当初の1億2千万円程度の想定から、徐々に減少傾向となる見込みです。

第12期以降は、第1号被保険者の中でも、要介護認定の可能性が高い80歳以上の方の割合が増加し、給付費の上昇が見込まれます。このため、第11期ま

でに培った健康づくり・介護予防の取組を一層強化し、町民運動として展開することで、給付費の抑制及び保険料負担の軽減を目指していきます。

### ③ 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療保険料の被保険者均等割額と所得割率は、2年に一度、山形県後期高齢者医療広域連合が決定しており、この度の保険料率改定にあたり、後期高齢者の所得にかかる所得割率と被保険者一人当たりの均等割率などが改定となり、併せて、令和8年度から「子ども・子育て支援金制度」が始まることに伴い、「子育て支援分」が新たに加算され、歳入歳出（会計規模）が増加しています。

一般会計による負担については9千万円程度を想定していますが、医療の高度化、診療報酬の見直しなどにより、今後一定程度の増加が想定されます。

引き続き山形県後期高齢者医療広域連合が実施する保険事業を活用し、被保険者の健康管理や疾病予防に寄与し、医療給付の適正化に努めてまいります。

### ④ 水道会計

令和4年度より、水道使用料の減少分として、令和4年度に3千万円、令和5年度、6年度に2千万円ずつ、合計7千万円の経営安定補助金の交付を実施していましたが、令和7年度については内部留保資金での対応とし、併せて経営戦略の見直しを行いました。

基準外の繰入を行わない場合は、現在の料金設定では経常収支として毎年2千万円程度の赤字が見込まれ、今後、事業の持続可能性と独立採算制の視点からも厳しい経営状況になると考えられ、料金改定を含んだ経営の改善が必要となっております。

一方で、当町の水道料金は県内でも高い水準にあること、現在は物価高騰の影響もあり町民生活への影響が大きいことから、令和8年度での料金値上げは難しいと判断し、基準外となる水道事業経営安定支援補助金1千万円を再度交付することとし、高料金対策補助金4千6百万円と併せて5千6百万円の負担を一般会計で行っております。

資本的支出に関しては、稲沢地内配水管布設替工事や上水道遠隔監視設備光回線化工事などを予定し、一般会計からの出資債として1千6百万円を予定しております。

## ⑤ 下水道会計

令和6年度より、農業集落排水特別会計と公共下水道会計が共に公営企業法適用の下水道事業会計へ移行しました。

令和8年度については、使用料や管理経費は令和7年度をベースに試算し、物価高騰も踏まえて、一般会計による運営費補助金を1億1百万円としています。

また、水道会計と同様に令和7年度に見直しを行った経営戦略により、安定的な事業運営を目指します。

資本的支出に関しては、有屋地区の農業集落排水において、機能強化対策全体実施設計を行い、不明水対策などの費用の削減にも取り組みます。

## 起債一覧表

発行額：通常ベース 2 億円+特殊要因

主な特殊事情（借入額）：

- ① R 8 役場庁舎昇降機設備改修 5, 9 4 0 万円
- ② R 8～1 0 ホットハウスカム口改修事業（既存施設解体込み）  
工事（解体含む）1 0 億 6 0 0 万円
- ③ R 8、9 地域振興施設整備（仮称） 4 億 7, 9 8 0 万円
- ④ R 9 総合交流促進施設（シェーネスハイム金山）関連改修等  
1 億 3, 0 0 0 万円
- ⑤ R 1 0 神室スキー場圧雪車更新 5, 0 0 0 万円
- ⑥ R 1 0、1 1 金山中大規模改修 1 億 3, 5 0 0 万円
- ⑦ R 1 0、1 1 金山小プール 1 億 1 0 0 万円
- ⑧ R 8～1 6 大規模ほ場整備負担金 2 億 9, 8 9 0 万円

単位：円

起債番号	会計名称	借入年度	起債名称	借入額
712	一般会計	令和8年度	R08緊防（消防積載車）	19,000,000
742	一般会計	令和8年度	R08過疎（地域振興施設実施設計）	29,800,000
755	一般会計	令和8年度	R08辺地（ホットハウス改築）	406,000,000
769	一般会計	令和8年度	R08大規模ほ場整備負担金（設計 辺地）	3,400,000
837	一般会計	令和8年度	R08公適（役場庁舎昇降機設備改修事業）	59,400,000
840	一般会計	令和8年度	R08緊防（福祉避難所整備事業補助）	1,900,000
841	一般会計	令和8年度	R08過疎債（基幹水利施設管理事業）	7,200,000
842	一般会計	令和8年度	R08過疎債（中学校校舎天井照明LED化事業）	26,500,000
846	一般会計	令和8年度	R08過疎（除雪ドーザー）	18,500,000
851	一般会計	令和8年度	R08緊急自然災害防止対策事業債（災害）	35,700,000
852	一般会計	令和8年度	R08過疎債（火葬場施設改修事業）	4,000,000
853	一般会計	令和8年度	R08過疎債（町道上台設計）	7,400,000
854	一般会計	令和8年度	R08過疎（JA倉庫補助）	39,600,000
856	一般会計	令和8年度	R08辺地（GVベルトコンベア設置）	34,700,000
858	一般会計	令和8年度	R08過疎債（中央公民館改修事業）	16,800,000
859	一般会計	令和8年度	R08過疎債（体育センター改修事業）	10,500,000
860	一般会計	令和8年度	R08過疎債（学校給食共同調理場改修事業）	11,600,000
861	一般会計	令和8年度	R08浚渫（外坂川）	1,900,000
862	一般会計	令和8年度	R08過疎ソフト	55,400,000
863	一般会計	令和8年度	R08辺地（田茂沢防護柵設置事業）	7,300,000
864	一般会計	令和8年度	R08過疎（山崎松の木線転落防止柵）	3,400,000
865	一般会計	令和8年度	R08過疎（エコプラザもがみダイオキシン）	9,000,000
866	一般会計	令和8年度	R08緊急自然災害防止対策事業債（道路）	74,100,000
867	一般会計	令和8年度	R08一般会計出資債（上水道分）	15,600,000
884	一般会計	令和8年度	R08地方道	10,200,000
821	診療所	令和8年度	R08過疎債（直診）	6,800,000

起債番号	会計名称	借入年度	起債名称	借入額
868	水道会計	令和8年度	R8上水道事業	80,000,000
554	下水道	令和8年度	R08資本費平準化債	109,000,000
649	下水道	令和8年度	R8下水道事業債5,400	5,400,000
703	下水道	令和8年度	R8過疎対策5,300	5,300,000
882	下水道	令和8年度	R8下水道事業（公営企業適用債1,850）	1,850,000
869	農集排	令和8年度	R8集落排水事業（公営企業適用債950）	950,000
568	一般会計	令和9年度	財政計画R09（過疎債）	150,000,000
681	一般会計	令和9年度	カム口計画R09（ホテル屋根外壁・設備）	130,000,000
694	一般会計	令和9年度	R9消防車	18,000,000
765	一般会計	令和9年度	R09過疎（中央公園整備 工事）	350,000,000
770	一般会計	令和9年度	R09大規模ほ場整備負担金（工事分 辺地）	53,700,000
838	一般会計	令和9年度	R09辺地（ホットハウス建替）	550,000,000
839	一般会計	令和9年度	R09過疎債（町道上台）	24,000,000
891	一般会計	令和9年度	R09緊急自然災害防止対策事業債（災害）	19,000,000
822	診療所	令和9年度	R09過疎債（直診）	4,200,000
870	水道会計	令和9年度	R9上水道事業	80,300,000
586	下水道	令和9年度	資本費平準化債R09	26,900,000
650	下水道	令和9年度	R9下水道事業債3,500	3,500,000
704	下水道	令和9年度	R9過疎対策3,500	3,500,000
696	農集排	令和9年度	R9集落排水事業（機能強化88,500）	88,500,000
697	農集排	令和9年度	R9集落排水事業（過疎債88,500）	88,500,000
569	一般会計	令和10年度	財政計画R10（過疎債）	150,000,000
636	一般会計	令和10年度	財政計画R10（中学校設計過疎債）	15,000,000
682	一般会計	令和10年度	カム口計画スキー場R10（圧雪車）	50,000,000
767	一般会計	令和10年度	財政計画R10（金山小プール設計過疎債）	6,000,000
771	一般会計	令和10年度	R10大規模ほ場整備負担金（工事分 辺地）	53,400,000
836	一般会計	令和10年度	R10辺地（ホットハウス解体 辺地）	50,000,000
879	一般会計	令和10年度	R10一般会出資債（上水道分）	13,100,000
823	診療所	令和10年度	R10過疎債（直診）	9,800,000
871	水道会計	令和10年度	R10上水道事業	36,900,000
587	下水道	令和10年度	資本費平準化債R10	26,900,000
651	下水道	令和10年度	R10下水道事業債3,200	3,200,000
705	下水道	令和10年度	R10過疎対策3,200	3,200,000
592	一般会計	令和11年度	財政計画R11（過疎債）	200,000,000
635	一般会計	令和11年度	財政計画R11（金山小プール工事過疎債）	95,000,000
637	一般会計	令和11年度	財政計画R11（中学校改修工事過疎債）	120,000,000
772	一般会計	令和11年度	R11大規模ほ場整備負担金（工事分 辺地）	53,400,000
847	一般会計	令和11年度	R11（過疎債）除雪ドーザー	30,300,000
880	一般会計	令和11年度	R11一般会出資債（上水道分）	13,100,000
872	水道会計	令和11年度	R11上水道事業	58,900,000
593	一般会計	令和12年度	財政計画R12（過疎債）	200,000,000
773	一般会計	令和12年度	R12大規模ほ場整備負担金（工事分 辺地）	27,000,000

起債番号	会計名称	借入年度	起債名称	借入額
881	一般会計	令和12年度	R12一般会出資債（上水道分）	33,600,000
824	診療所	令和12年度	R12過疎債（直診）	7,400,000
873	水道会計	令和12年度	R12上水道事業	58,400,000
885	下水道	令和12年度	R12下水道事業債20,800	20,800,000
886	下水道	令和12年度	R12過疎対策20,800	20,800,000
594	一般会計	令和13年度	財政計画R13	200,000,000
774	一般会計	令和13年度	R13大規模ほ場整備負担金（工事分 辺地）	27,000,000
844	一般会計	令和13年度	R13（過疎債）スクールバス	24,000,000
848	一般会計	令和13年度	R13（過疎債）除雪小型ロータリ	8,800,000
825	診療所	令和13年度	R13過疎債（直診）	1,900,000
874	水道会計	令和13年度	R13上水道事業	103,000,000
887	下水道	令和13年度	R13過疎対策2,200	2,200,000
888	下水道	令和13年度	R13下水道事業債2,300	2,300,000
595	一般会計	令和14年度	財政計画R14	200,000,000
775	一般会計	令和14年度	R14大規模ほ場整備負担金（工事分 辺地）	27,000,000
845	一般会計	令和14年度	R14（過疎債）スクールバス	12,000,000
875	水道会計	令和14年度	R14上水道事業	119,000,000
596	一般会計	令和15年度	財政計画R15	200,000,000
776	一般会計	令和15年度	R15大規模ほ場整備負担金（工事分 辺地）	27,000,000
743	診療所	令和15年度	R15病院事業債（直診）	22,500,000
890	診療所	令和15年度	R15過疎債（直診）	22,500,000
876	水道会計	令和15年度	R15上水道事業	133,000,000
597	一般会計	令和16年度	財政計画R16	200,000,000
777	一般会計	令和16年度	R16大規模ほ場整備負担金（工事分 辺地）	27,000,000
877	水道会計	令和16年度	R16上水道事業	74,700,000
598	一般会計	令和17年度	財政計画R17	200,000,000
826	診療所	令和17年度	R17過疎債（直診）	7,400,000
878	水道会計	令和17年度	R17上水道事業	74,700,000
599	一般会計	令和18年度	財政計画R18	200,000,000
889	水道会計	令和18年度	R18上水道事業	74,700,000
600	一般会計	令和19年度	財政計画R19	200,000,000
601	一般会計	令和20年度	財政計画R20	200,000,000

## 年度別償還表 全会計

※システム出力値のため円単位となっています。

【参考資料】

いずれの会計も現在予定されている事業に基づく積算となっており、起債発行は随時追加される見込みです。

R7年度分現在の借入予定額で試算。償還期間や償還据置期間の条件で変動もあります。

(単位：円)

年度	発行額	年度末起債残高 (未償還元金)	元金	利子	償還額合計
令和8年度	1,118,200,000	5,895,552,160	611,099,079	53,893,566	664,992,645
令和9年度	1,590,100,000	6,861,607,984	624,044,176	76,211,026	700,255,202
令和10年度	417,500,000	6,730,960,703	548,147,281	114,003,973	662,151,254
令和11年度	570,700,000	6,745,662,701	555,998,002	119,659,430	675,657,432
令和12年度	368,000,000	6,524,041,824	589,620,877	127,827,512	717,448,389
令和13年度	369,200,000	6,254,502,793	638,739,031	127,634,612	766,373,643
令和14年度	358,000,000	5,970,722,638	641,780,155	126,505,766	768,285,921
令和15年度	405,000,000	5,709,835,446	665,887,192	124,449,089	790,336,281
令和16年度	301,700,000	5,342,813,060	668,722,386	121,618,809	790,341,195
令和17年度	282,100,000	4,959,792,436	665,120,624	116,294,101	781,414,725
令和18年度	274,700,000	4,620,572,812	613,919,624	110,185,640	724,105,264
令和19年度	200,000,000	4,229,555,931	591,016,881	104,193,601	695,210,482
令和20年度	200,000,000	3,870,676,314	558,879,617	96,462,495	655,342,112

## 年度別償還表 一般会計

※発行額は現在財政計画の積算へ含んでいる金額のみ反映しています。

(単位：円)

年度	発行額	年度末起債残高 (未償還元金)	元金	利子	償還額合計
令和8年度	908,900,000	4,468,326,614	432,526,047	35,821,320	468,347,367
令和9年度	1,394,700,000	5,407,150,207	455,876,407	55,415,596	511,292,003
令和10年度	337,500,000	5,344,408,780	400,241,427	90,006,092	490,247,519
令和11年度	511,800,000	5,443,774,114	412,434,666	96,134,707	508,569,373
令和12年度	260,600,000	5,229,634,945	474,739,169	104,626,291	579,365,460
令和13年度	259,800,000	4,944,145,750	545,289,195	103,178,002	648,467,197
令和14年度	239,000,000	4,628,142,548	555,003,202	100,488,430	655,491,632
令和15年度	227,000,000	4,280,358,976	574,783,572	96,554,303	671,337,875
令和16年度	227,000,000	3,929,263,226	578,095,750	91,415,578	669,511,328
令和17年度	200,000,000	3,553,147,001	576,116,225	85,632,407	661,748,632
令和18年度	200,000,000	3,225,467,828	527,679,173	79,039,307	606,718,480
令和19年度	200,000,000	2,922,237,104	503,230,724	72,739,918	575,970,642
令和20年度	200,000,000	2,650,796,012	471,441,092	66,717,614	538,158,706

年度別増加の主な要因：

- ①R8役場庁舎昇降機設備改修 借入：5,940万円、償還額：R11+477万円
- ②R8～10ホットハウスカム口改修事業工事分（既存施設解体込み） 借入：10億600万円、償還額：R11+2,814万円、R12+3,813万円、R13+346万円
- ③R8、9地域振興施設整備施設整備分 借入：4億7,980万円、償還額：R12+371万円、R13+5,615万円
- ④R9総合交流促進施設（シェーネスハイム金山）関連改修等 借入：1億3,000万円、償還額R12+1,803万円
- ⑤R10神室スキー場圧雪車更新 借入：5,000万円、償還額：R13+693万円
- ⑥R10、11金山中大規模改修 借入：1億3,500万円、償還額：R14+187万円、R15+2,963万円
- ⑦R10、11金山小プール 借入：1億100万円、償還額：R14+73万円、R15+494万円
- ⑧R8～16大規模ほ場整備負担金 借入：2億9,890万円、償還額：R11+47万円、R12+744万円、R13+740万円、R14+740万円、R15+374万円、R16+374万円、R17+374万円、R18+374万円、R19+374万円

## 年度別償還表 直診

※発行額は現在財政計画の積算へ含んでいる金額のみ反映しています。

(単位：円)

年度	発行額	年度末起債残高 (未償還元金)	元金	利子	償還額合計
令和8年度	6,800,000	101,939,614	14,708,049	599,952	15,308,001
令和9年度	4,200,000	91,534,654	14,604,960	761,770	15,366,730
令和10年度	9,800,000	88,257,792	13,076,862	842,187	13,919,049
令和11年度	0	75,792,512	12,465,280	1,016,627	13,481,907
令和12年度	7,400,000	70,433,446	12,759,066	987,911	13,746,977
令和13年度	1,900,000	63,227,229	9,106,217	1,053,103	10,159,320
令和14年度	0	53,040,702	10,186,527	1,021,956	11,208,483
令和15年度	45,000,000	88,321,572	9,719,130	1,051,883	10,771,013
令和16年度	0	77,734,439	10,587,133	1,351,678	11,938,811
令和17年度	7,400,000	74,827,752	10,306,687	1,306,699	11,613,386
令和18年度	0	66,166,124	8,661,628	1,309,121	9,970,749
令和19年度	0	55,899,641	10,266,483	1,190,009	11,456,492
令和20年度	0	46,812,211	9,087,430	1,009,074	10,096,504

## 年度別償還表 農業集落排水

※発行額は現在財政計画の積算へ含んでいる金額のみ反映しています。

(単位：円)

年度	発行額	年度末起債残高 (未償還元金)	元金	利子	償還額合計
令和8年度	950,000	104,220,880	8,995,732	687,432	9,683,164
令和9年度	177,000,000	270,094,432	11,126,448	658,608	11,785,056
令和10年度	0	258,510,469	11,583,963	5,072,416	16,656,379
令和11年度	0	246,750,283	11,760,186	4,955,709	16,715,895
令和12年度	0	234,919,203	11,831,080	4,884,807	16,715,887
令和13年度	0	214,257,202	20,662,001	4,758,180	25,420,181
令和14年度	0	194,910,891	19,346,311	4,463,570	23,809,881
令和15年度	0	168,772,862	26,138,029	4,115,875	30,253,904
令和16年度	0	142,915,894	25,856,968	3,615,296	29,472,264
令和17年度	0	118,358,809	24,557,085	3,107,814	27,664,899
令和18年度	0	95,535,781	22,823,028	2,607,583	25,430,611
令和19年度	0	72,461,176	23,074,605	2,110,841	25,185,446
令和20年度	0	50,895,699	21,565,477	1,607,589	23,173,066

## 年度別償還表 公共下水道

※発行額は現在財政計画の積算へ含んでいる金額のみ反映しています。

(単位：円)

年度	発行額	年度末起債残高 (未償還元金)	元金	利子	償還額合計
令和8年度	121,550,000	868,213,524	114,251,079	12,053,760	126,304,839
令和9年度	33,900,000	794,200,070	107,913,454	13,441,454	121,354,908
令和10年度	33,300,000	726,492,397	101,007,673	12,844,903	113,852,576
令和11年度	0	632,005,865	94,486,532	12,223,144	106,709,676
令和12年度	41,600,000	593,705,002	79,900,863	10,893,709	90,794,572
令和13年度	4,500,000	536,401,201	61,803,801	10,837,420	72,641,221
令和14年度	0	484,081,762	52,319,439	10,083,754	62,403,193
令和15年度	0	436,893,853	47,187,909	9,317,124	56,505,033
令和16年度	0	392,284,885	44,608,968	8,581,630	53,190,598
令和17年度	0	349,493,111	42,791,774	7,851,492	50,643,266
令和18年度	0	307,748,140	41,744,971	7,131,953	48,876,924
令和19年度	0	269,013,479	38,734,661	6,404,383	45,139,044
令和20年度	0	232,038,181	36,975,298	5,685,808	42,661,106

※資本費平準化債は令和10年度まで仮設定

## 年度別償還表 水道

※発行額は現在財政計画の積算へ含んでいる金額のみ反映しています。

(単位：円)

年度	発行額	年度末起債残高 (未償還元金)	元金	利子	償還額合計
令和8年度	80,000,000	352,851,528	40,618,172	4,731,102	45,349,274
令和9年度	80,300,000	398,628,621	34,522,907	5,933,598	40,456,505
令和10年度	36,900,000	413,291,265	22,237,356	7,330,840	29,568,196
令和11年度	58,900,000	447,339,927	24,851,338	7,829,243	32,680,581
令和12年度	58,400,000	495,349,228	10,390,699	8,934,794	19,325,493
令和13年度	103,000,000	586,432,098	11,917,130	10,245,550	22,162,680
令和14年度	119,000,000	690,215,556	15,216,542	12,633,146	27,849,688
令和15年度	133,000,000	804,606,235	18,609,321	15,336,091	33,945,412
令和16年度	74,700,000	858,916,480	20,389,755	18,315,395	38,705,150
令和17年度	74,700,000	911,179,345	22,437,135	19,784,363	42,221,498
令和18年度	74,700,000	961,501,299	24,378,046	21,207,410	45,585,456
令和19年度	0	934,137,712	27,363,587	22,572,227	49,935,814
令和20年度	0	902,381,064	31,756,648	21,973,038	53,729,686